令和８年度第２回大野城市スポーツ推進審議会　議事概要

●会 議 名：令和８年度第２回大野城市スポーツ推進審議会
●日　　時：令和８年７月24日（金） 10:00～11:30
●場　　所：大野城市役所　新館３階　322会議室
●出 席 者：審議会委員
・井上　順吾　・高場三恵子　・飛永　時子
・見城　俊昭　・國分　愼二　・若山　純哉
（欠席：大隈　和彦、辻　純子、佐藤　紀子）
事務局（スポーツ課）
・甲斐　めぐみ　・藤根　隆幸・山口　航輝
●会議要旨：下記のとおり

1　第2回大野城市スポーツ推進審議会

本審議会の委員総数は9名であり、6名の委員が出席した。

「大野城市スポーツ推進審議会設置条例施行規則」第4条第2項の規定により、委員の過半数が出席しているため、審議会は成立した。

なお、傍聴者は0名であった。

【1　会長　あいさつ】

【2　報　　告】

第２期大野城市スポーツ推進計画の進捗について

【概　要】

事務局より「第２期大野城市スポーツ推進計画達成度評価一覧表」に基づき、各施策の「取組み概要」「評価」「評価のポイント」及び「今後の取組み概要」について説明を行った。

第2期大野城市スポーツ推進計画では、具体的な取組みとして全59項目を設定している。

令和7年度の検証結果（達成度）は、59項目のうち、Ａ評価が43項目、Ｂ評価が9項目、Ｃ評価が7項目となった。

特に、Ｂ評価及びＣ評価となった項目については、その要因や課題、今後の改善に向けた取組み方針を中心に報告をした。

その後、各委員から各施策の取組み内容や今後の方向性について質疑及び意見があり、事務局が回答を行った。

【質疑、応答】

Q1　とびうめ国体終了後、その成果を継承する取組みとして、生涯スポーツと障がい者スポーツの2つの分野に分かれ、生涯スポーツでは「グラウンドゴルフ」、障がい者スポーツでは「まどか弓」が普及事業として取り組まれた。近年は、高校生の間で弓道競技の人気が高まっており、高校から弓道に親しむ生徒も多く見られる。この状況を踏まえ、「まどか弓」のさらなる普及を図るとともに、障がいのある方にも参加を呼びかけた大会を開催するなど、大野城市ならではの特色を生かした取組みとして発展させてはどうか。

A1　スポーツ課では、「まどか弓」の実施状況等の詳細を把握していないため、まずは、スポーツ課で「まどか弓」に関する情報収集を進める。また、各コミュニティで実施している会議にはスポーツ課職員が参加して

いるため、今後は各コミュニティの実情を踏まえ、「まどか弓」の実施が可能かどうかを含めて検討していく。

Q2　大規模大会について、どの程度の規模を想定しているのか。

A2　競技スポーツについては、全国大会や国際大会規模を想定している。
　　e スポーツについては、駅前や商業施設等で開催されている大会と同等の規模を想定している。

Q3　全国規模や国際規模の大会となると、大野城市単独での開催は難しいのではないか。

A3　本市単独での開催は厳しい状況でもあるため、現在、県との協議を進めている。

Q4　大規模大会を開催する場合、駐車場の確保についてはどのように考えているか。

A4 まどかパーク周辺の駐車場の確保について、検討を進めている。

Q5　大野城市総合体育館の空調設備及び観客への対応について、どのように考えているのか。

A5　大野城市総合体育館の空調設備については、床下輻射式の空調を導入予定である。この空調は、風を直接送るのではなく、冷気を上方へ逃がすことで、3階の観客席まで涼しく快適に利用できることがメリットであり、この設備の導入に向けて進めている。

Q6　床下輻射式の空調について、観客席まで十分に冷気が届かない可能性もあるのではないか。観客席への空調効果について工夫してほしい。

A6　今回導入する空調の仕様は、主に8m程度まで冷気が届くことがメリットであり、観客席まで空調効果があると考えている。また、観客席にも空調を導入する予定で進めている。

Q7　パラスポーツについては、福祉分野の位置づけだけではなく、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるスポーツとして捉えていくことが重要ではないか。また、「MADOKAれくスポ祭」などにおいても、障がいの有無に関わらず一緒にスポーツに取り組むことで、より多くの市民が参加しやすい環境づくりにつながるのではないか。

A7　障がい者スポーツは、障がいのある方だけではなく、多くの市民が体験し、理解を深めることが、共生社会の実現につながるものと考えている。今後も、福祉サービス課と連携を図りながら、スポーツの観点から障がい者スポーツの普及・啓発に取り組んでいく。

Q8 「総合型地域スポーツクラブ」のスポーツ教室について、スポーツ協会の加盟登録者を増やすことを目的としたものではないと思うが、どのような目的で実施しているのか。

A8　設立当初から目的が少しずつ変化してきており、現在の目標になっている。今回の委員からの意見を踏まえ、目的や目標について改めて整理した上で、検討していきたい。

Q9　近年の厳しい暑さを踏まえ、気温が35℃以上となるような場合には、スポーツ活動を中止するなど、安全面を最優先した対応が必要ではないか。また、「まどかリンピック」についても、暑さへの対策や開催時期について検討する必要があるのではないか。

A9 「まどかリンピック」の開催時期や暑さ対策については、行政内部をはじめ、スポーツ協会やスポーツ少年団と協議を重ねながら、検討していく。

会議終了